

Message from the President

平成28年度長崎大学卒業生の皆さん。卒業おめでとう。

君たちは、長崎大学での4年あるいは6年間で、多くのことを学び、様々な新しい出会いを果たし、一回りも二回りも大きく成長したと思います。喜び、笑い、感動し、時には歯を食いしばり、涙したこともあったでしょう。最も清新で柔軟な感性を有するこの時期における体験は鮮烈で、一生心に刻まれる記憶となります。今後の人生の様々な場面で心に蘇り、君たちの背中を前に押す役割をしてくれるはずです。多彩な歴史に彩られた美しい街＝長崎、個性あふれる長崎大学で作った思い出を大切に持ち続けてください。

君たちがこれから生きていく社会は、歴史上かつてない規模とスピードで変容しつつあります。AI(人工知能)、IoTやロボット技術の発達は確実に人間の働き方を変えてでしょうし、遺伝子改変技術や再生医療は我々の生命観に変容を迫ることになるでしょう。また、グローバル化が着実に進行する中、利益追求一辺倒の経済至上主義が格差の拡大という形で綻びを見せ始めています。日本においては、未曾有の超高齢化社会が出現します。これらの変化は、人間の価値観や世界観に歴史を画する非連続的な変容を迫ることになるかもしれません。私たちは改めて“幸せ”とは何かを問い直さなければいけません。

そんな変容の時代であるからこそ、君たち若者には大きな活躍の舞台が準備されています。君たち一人ひとりが、それぞれの舞台で輝きを放ってくれることを心より期待します。変容の時代には既存の知識・技術は瞬間に陳腐化します。答えのない課題に挑戦し、新しい価値観を創造し、未知の未来を切り拓くという心意気を持ち続けることが大切です。そして、長崎大学で、それをやり遂げるための基盤的な力を身に着けてくれたものと信じます。それは、受け身ではなく自分自身で考え学ぶことのできる力、自分の考えを相手に適切に伝えることのできる力、多様な人間とチームとして協働できる力です。長崎大学での成果が、社会人としての君たちの未来に大きな意味を持つことを願います。

長崎大学長 片峰 茂

CHODAI DOSO
2017

